

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
専 務 理 事 清 原 淳 平

### 交通部会のお知らせ (第242回)

日 時 平成28年9月27日(火) 午後1時半～3時半  
場 所 衆議院第一議員会館 地下1階 第4会議室  
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第4会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通事故情勢について想う  
挨拶 議長 松本治男 警察庁元近畿管区警察局長
  - 2、平成28年上半年期における交通死亡事故の主な特徴等
  - 3、平成28年秋の全国交通安全運動の実施
  - 4、交通事故統計(8月中及び9月26日まで)  
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る7月26日開催の第241回交通部会は、部会長に代わって松本治男警察庁元近畿管区警察局長が議長を務め行われました。

まず、松本議長より、「最近の交通事故情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。私が警察庁に入庁したのは昭和54年である。交通戦争と呼ばれていた事故死者数のピークを過ぎ、徐々に減少傾向にあった頃であった。交通安全対策には、3Eと呼ばれる Education(教育)、Engineering(技術)、Enforcement(法の執行)が重要視され、これを推し進めた結果が現在の4千人台という数字につながっている。3Eの技術面では、信号、標

識、道路交通管制センターなどがあるが、その延長線上に、自動運転技術がある。果たして、さらなる交通事故死者数減少につながるか。

次に、警察庁交通局交通企画課落合大地課長補佐（警視）より、「道路交通法施行令の一部を改正する政令」について解説がありました。認知機能が低下した場合に行われやすい違反と（信号無視など）、それに伴う講習の手数料と内容、準中型自動車の大きさと道路標識、指定自動車教習所における教習の細目などを定めた道路交通法の一部改正の施行期日を来年3月12日とする政令案が、7月12日に閣議決定された。

次に、「自動運転をめぐる最近の動向と警察庁の取り組み」について説明がありました。現在、2020年までに、加速・操舵、制動をすべてシステムが行うが、緊急時はシステムの要請によりドライバーが対応し、責任もドライバーにある「自動運転レベル2」の商用化の実現を目指している。それ以上のレベルの自動運転については国連の条約委員会にて検討中である。運転免許の保有者数は、昭和44年と比較して約3倍に増えている。運転免許返納については、平成27年が28万5514人となっており、65歳以上の高齢者が、94.6%を占めていた。

次に、「交通事故統計」について説明がありました。7月25日現在の交通事故死者数は、2058人で、前年同期と比べ103人、-4.8%と、大きく減らしている。7月月間でも231人で、-38人、-14.1%と高い。しかし、飲酒死亡事故が119件と11件増加しており、憂慮されている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

次回、9月27日（火）の交通部会（衆1）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様の F A X \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、  
前日までに事務局へ御連絡下さい。**

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

H P <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)